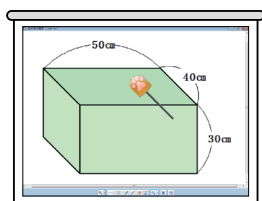




教材を拡大表示して説明しよう



教材スタジオで作成した教材ファイルを、プロジェクターや別のモニターに表示してみましょう。授業用ズーマーを利用すると、パソコンで開いている教材ファイルを、拡大表示できます。猫の手や星などのかわいいデザインの指し棒も使えるので、子どもたちの注意を集めること間違いなしです。



コネタくんからのアドバイス!

拡大表示した画面に線を引いたり、文字を描いたりできるよ。画像として保存もできるので、授業の記録資料として残しておこう。

授業用ズーマーをスタートする

- 1 Windowsの「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム-ジャストスクール-ツール-授業用ズーマー」を選択し、授業用ズーマーの設定画面を表示します。

One Point

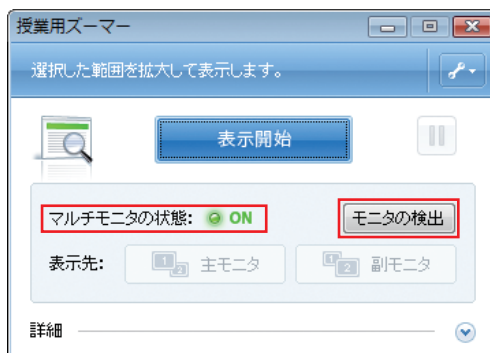
プロジェクターや別のモニターは、あらかじめパソコンに接続しておきます。



- 2 マルチモニタの設定をしていない場合は「モニタの検出」をクリックして、「マルチモニタの状態」を「ON」にします。

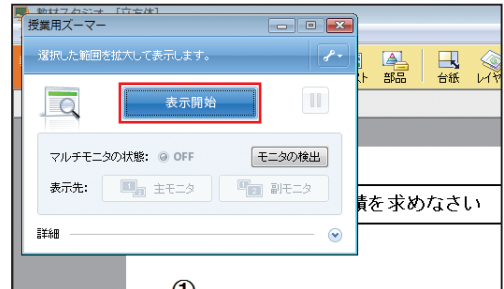
One Point

プロジェクターや別のモニターが接続されていれば、自動的に拡大表示画面が表示されるように設定されます。



教材を拡大表示する

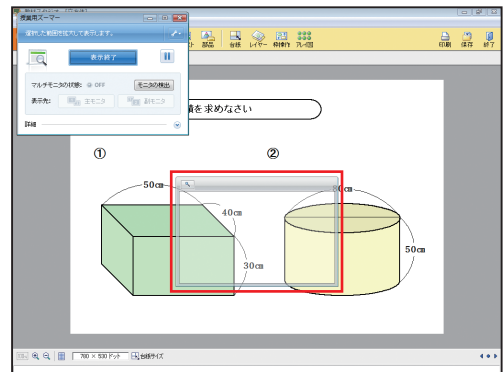
- 1 拡大したい教材を開き、授業用ズームの設定画面の **表示開始** をクリックします。



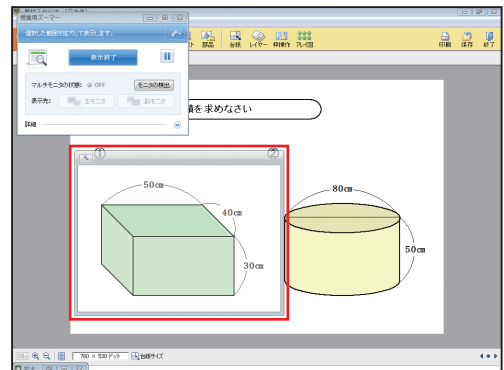
- 2 拡大表示画面が表示されたのを確認します。

One Point

拡大表示画面の内容が、プロジェクター（別モニター）に表示される部分になります。

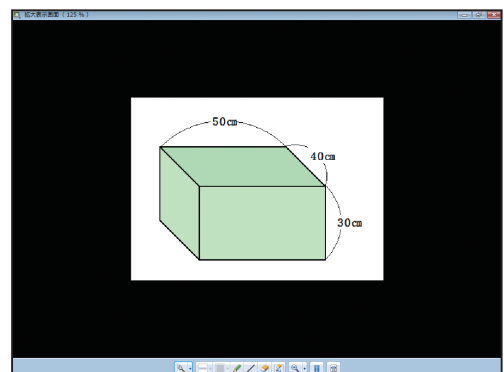


- 3 拡大表示画面のタイトルバーをドラッグして位置を調整したり、外枠にマウスのポインタを合わせて大きさを拡大／縮小したりします。




パソコンの画面

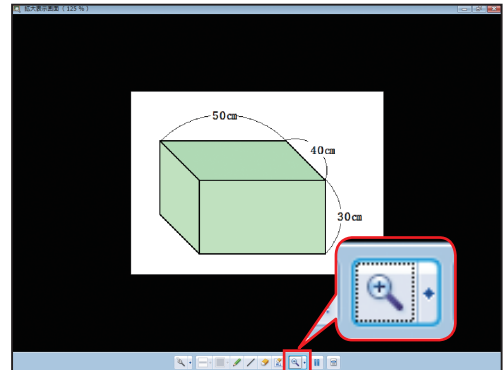
- 4 プロジェクター（別モニター）に、拡大表示画面の内容が拡大表示されたのを確認します。



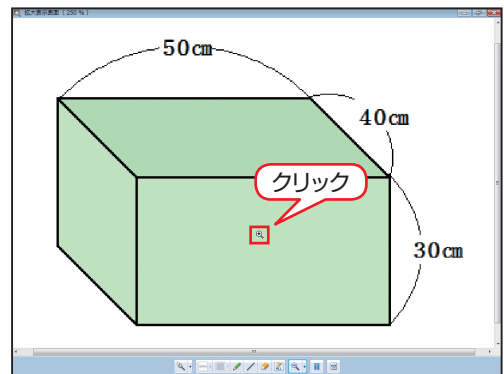
プロジェクター（別モニター）の画面

プロジェクター（別モニター）の表示を拡大する



- 1 画面下のツールバーにある  [表示倍率切替] をクリックし、拡大表示したい部分をクリックします。

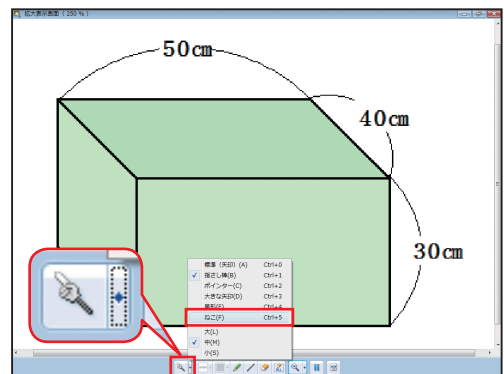


- 2 何度かクリックして、目的のサイズまで拡大します。

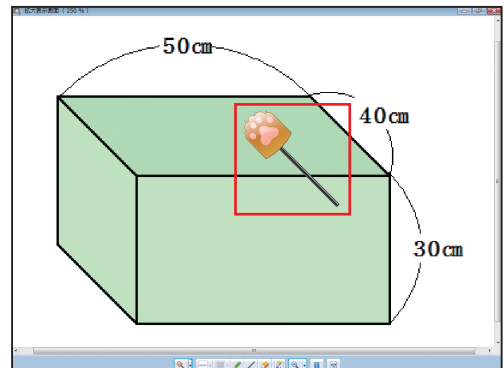


指し棒を使う


- 1 画面下のツールバーにある  [指し棒] の  をクリックし、指し棒の種類を選択します。

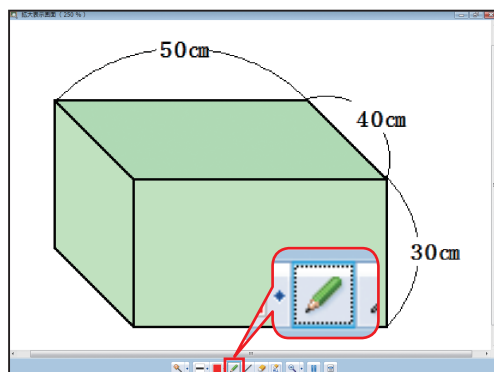


- 2 拡大表示画面のマウスポインタが指定した種類の指し棒に変わるので、強調したい個所に合わせて活用します。

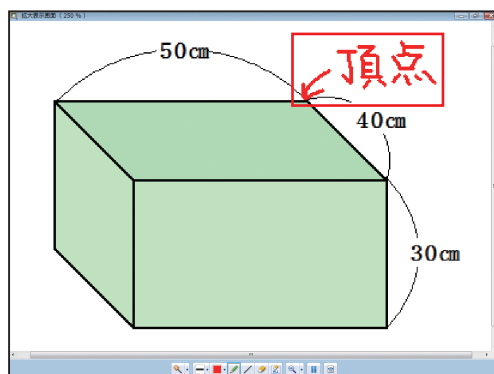



手書きの書き込みをする

- 1 画面下のツールバーにある  [ペン] をクリックします。




- 2 必要に応じて線の色や太さを変更し、画面をドラッグして文字を描きます。



- 3 不要な線を消したい場合は、 [消しゴム] をクリックしてから、消したい線をなぞるようにドラッグします。

One Point

画面下のツールバーに  [書き込みをすべて削除] をクリックすると、書き込んだ内容をすべて消去できます。




ちょこっとアレンジ!



書き込んだ内容を画像として保存する

拡大表示画面に表示している内容は、画像として保存することができます。授業の内容を振り返ったり、一太郎に貼り付けて別の資料を作成するときなどに便利です。

- ① 画面下のツールバーにある  [メニュー] をクリックし、[画像形式で保存] を選択します。
- ② [画像形式で保存] ダイアログボックスで保存場所やファイル名、ファイル形式を指定して、[保存] をクリックします。